

旭川市社会教育基本計画の中間見直しについて

1 今回の内容

「令和3年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書（社会教育）」を参考に、旭川市社会教育基本計画をどのように見直したらよいかについて、意見を集約する。

※意見を基に、事務局で見直し素案を作成し、次の会議で提案する。

2 見直しの視点

○目標と評価指標を中心として見直す

(1) 成果目標

(2) 評価

ア アウトプット評価（結果：行政の取組）

イ アウトカム評価（成果：市民〈利用者〉の意識や行動の変容）

(3) 評価指標

ア アウトプットに関わる指標

イ アウトカムに関わる指標

(4) その他

3 その他

- (1) 意見集約を円滑に進めるために、事前に別紙「シート1～5」の太枠欄に意見を記入してください。
- (2) シートについては、会議終了後、提出をお願いします。

参考 学識経験者（札幌国際大学教授 佐久間 章 氏）からの意見（抜粋）

- ・ 成果指標として掲げているものは、いわゆるアウトプット(結果)となっている。「アウトプット」の結果としてもたらされた「アウトカム(成果)」の計測を検討し、可能なものは成果指標に位置づけるべき
- ・ ポストコロナとなっても、従前の対面(集合型)による学習に戻すだけではなく、ICTによるオンライン・オンデマンド学習を併用した学びの“カタチ”を推進していくことが重要
- ・ 現状の様々な事業に、市民が参画できる仕組みづくりを、ぜひ検討していただきたい
- ・ 効果的な施設間連携について検討することを期待する
- ・ 多様な関係機関と連携し、自施設内での実施のみならず積極的に市内各所、各団体へアウトリーチすることは、学習環境の整備にもつながる
- ・ 施設内での活動に限定するのではなく、多様なボランティアの“カタチ”を検討してはかがか
- ・ 地域個々の特色を生かした「地域学校協働活動」を支援していくことが大切である
- ・ 芸術文化の価値や受益者負担の考え方についても、広く市民に理解を求めていくことも重要
- ・ 利活用を増やすためには、情報提供・情報発信だけで十分なのか。もっと多角的な分析を行い、検討することが必要ではないか
- ・ 情報提供は、あらゆる世代に届けるために、ICTのみならず従前の紙媒体を併用したハイブリットな情報提供の継続を期待する
- ・ 郷土の文化に愛着を持てるようにするためには、価値や魅力の情報発信と併せて社会教育事業(学習機会)による価値や魅力への「気づき」を誘発する学習も有効ではないか
- ・ 次代を担う子どもたちの郷土愛を育成するための青少年事業の検討を期待する

社会教育推進基本方針

基本理念	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学び、その成果を地域づくりに生かす ○地域を知り、学び合いながら、絆を深め、郷土愛を育む
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○本市のまちづくり基本条例の基本原則「市民主体」「地域主体」の考え方のもと、一人一人が生涯にわたって学び続け、その成果を社会に生かすことを目指す ○地域の魅力や地域資源について共通認識を持つとともに、地域住民同士が相互に学び合いながら、人と人との絆を深め郷土への愛着を育むことを目指す

基本目標1	市民一人一人の主体的な学びの機会の充実	
成果目標1	子育て世代や高齢期などの人生における各段階で直面する課題や社会的な課題を解決できるよう、学びに関する情報提供を行うとともに、様々な学びのニーズに応えることができるよう学習機会の充実を図る。	
基本施策	1-1 多様なニーズに対応した学習機会、学習情報の提供	1-2 子育てをする家庭の教育力の向上
主な取組	1-1-1 現代的・社会的な課題やニーズに対応した学習の推進 ①国際化に伴う異なる文化・習慣への理解の促進 ②身の周りや地球規模での資源・環境問題への理解の促進 ③情報化に伴うICTの活用への促進 1-1-2 ライフステージに応じた学習機会の充実 ①幼児、青少年期の生きる力を身に付ける学習機会の提供 ②成人期のキャリアアップや趣味、教養に関する学習機会の提供 ③高齢期の生きがいづくりなどに関する学習機会の提供 1-1-3 学習機会の選択を支援する情報提供の充実 ①講師情報や活動団体に関する情報の提供 ②課題解決を支援する各種情報の提供	1-2-1 親や保護者の育ちを支援する取組の充実 ①家庭教育に関する学習機会の充実 ②父親の家庭教育への参加を支援する取組の充実 1-2-2 親や保護者を孤立させない環境の整備 ①交流会やサークル情報等の提供 ②子育て中の親や保護者のネットワークづくりの支援

		行政の取組	指 標
評 価	アウトプット評価 「結果」	【成果目標から】 ・学びに関する情報提供を行っている ・様々な学びのニーズに応えている ・学習機会を充実させている	【現行の成果指標】 ・社会的課題やライフステージに対応した課題を解決するための講座の受講者数 ・社会的課題やライフステージに対応した課題を解決するための講座への参加者の満足度 ・まなびネットあさひかわのアクセス件数 ・家庭教育の支援に関する講座の参加者数
	アウトカム評価 「成果」	【成果目標から】 ・人生における各段階で直面する課題を解決出来ている ・社会的な課題を解決出来ている 【目指す姿から】 ・生涯にわたって学び続けている	指 標

基本方針

基本理念	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学び、その成果を地域づくりに生かす ○地域を知り、学び合いながら、絆を深め、郷土愛を育む
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○本市のまちづくり基本条例の基本原則「市民主体」「地域主体」の考え方のもと、一人一人が生涯にわたって学び続け、その成果を社会に生かすことを目指す ○地域の魅力や地域資源について共通認識を持つとともに、地域住民同士が相互に学び合いながら、人と人との絆を深め郷土への愛着を育むことを目指す

基本目標2 市民の学びを支える環境の整備

成果目標2 社会の変化や新たなニーズに応じた施設運営や本市の特性を生かした事業を展開するなど、市民が学習しやすい環境を整備する



基本施策	2-1 施設運営や事業展開に工夫を凝らした学習しやすい環境の整備
主な取組	2-1-1 市民の学習ニーズに応じた学習環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ①市民の学習ニーズを反映した社会教育施設の運営 ②誰もが利用しやすい社会教育施設の整備 ③社会教育施設の拠点機能の充実 2-1-2 関係機関等との多様な連携による学習環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ①高等教育機関等との連携による高度な学習機会の提供 ②社会教育関係団体等との連携による特性を生かした学習機会の提供 ③市長部局との積極的な連携による学習機会の提供

		行政の取組	指 標
評価	アウトプット評価 「結果」	【成果目標から】 <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化や新たなニーズに応じた施設運営を行っている ・本市の特性を生かした事業を展開している 	【現行の成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設（社会教育部主管）の利用率又は利用者数 <ul style="list-style-type: none"> ※中央図書館は貸出利用者数 ・社会教育施設を利用しやすいと感じる市民の割合 ・地域の特色を生かした事業への参加者数 ・高等教育機関等との連携による事業実施回数
	アウトカム評価 「成果」	【成果目標から】 <ul style="list-style-type: none"> ・人生における各段階で直面する課題を解決出来ている ・社会的な課題を解決出来ている 【目指す姿から】 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって学び続けている 	指 標

基本方針

基本理念	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学び、その成果を地域づくりに生かす ○地域を知り、学び合いながら、絆を深め、郷土愛を育む
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○本市のまちづくり基本条例の基本原則「市民主体」「地域主体」の考え方のもと、一人一人が生涯にわたって学び続け、その成果を社会に生かすことを目指す ○地域の魅力や地域資源について共通認識を持つとともに、地域住民同士が相互に学び合いながら、人と人の絆を深め郷土への愛着を育むことを目指す

基本目標3	地域における学びの循環	
成果目標3	シニア世代をはじめとした地域の人材を活用し、学習成果を還元する取組を充実させるほか、家庭、地域、学校が連携し、つながりを深めながら学び合える環境を整備する	
基本施策	3-1 地域における教育力の向上	3-2 家庭、地域、学校の連携の推進
主な取組	3-1-1 市民が主体となって学習成果を還元できる環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ①シニア世代などの知識・技術を生かした活動の場の提供 ②学習成果を生かしたボランティア活動の促進 3-1-2 地域社会を担う団体や人材の育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ①社会教育関係団体の育成支援 ②指導者の育成支援に向けた取組の充実 	3-2-1 家庭、地域、学校の連携による青少年などの活動を支援する取組の充実 <ul style="list-style-type: none"> ①地域における青少年の学習活動の充実 ②子どもたちを中心とした交流による学び合いの場の提供 ③家庭、地域、学校との連携を更に深める取組の充実

		行政の取組	指 標
評 価	アウト プット 評価 〔結果〕	【成果目標から】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材を活用している ・学習成果を還元する取組を充実させている ・家庭、地域、学校が連携し、つながりを深めながら学び合える環境を整備している 	【現行の成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアと連携して実施する事業の回数 <ul style="list-style-type: none"> ※中央図書館はボランティアの行事参加者数 ・事業への参加を通じて新たな人とのつながりができた人の割合 ・シニア世代の知識や経験を伝える世代間交流の実施回数 ・学校、地域、家庭と連携して実施した事業の参加者数 <ul style="list-style-type: none"> ※社会教育課は活動回数 ・青少年活動に関する事業の参加者数
	アウト カム 評価 〔成果〕	【成果目標から】 <ul style="list-style-type: none"> ・学習成果を還元している ・家庭、地域、学校が連携している ・家庭、地域、学校がつながりを深めながら学び合っている 【目指す姿から】 <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを社会に生かしている ・地域の魅力や地域資源について共通認識を持っている ・地域住民同士が相互に学び合っている ・人と人の絆を深めている 	指 標

社会教育推進基本方針

基本理念	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学び、その成果を地域づくりに生かす ○地域を知り、学び合いながら、絆を深め、郷土愛を育む
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○本市のまちづくり基本条例の基本原則「市民主体」「地域主体」の考え方のもと、一人一人が生涯にわたって学び続け、その成果を社会に生かすことを目指す ○地域の魅力や地域資源について共通認識を持つとともに、地域住民同士が相互に学び合いながら、人と人との絆を深め郷土への愛着を育むことを目指す

基本目標4	市民の心を豊かにする文化芸術活動の充実
成果目標4	人々が気軽に文化芸術に触れられる取組を進めるとともに、団体等への支援や関連施設を更に活用することにより、文化芸術の振興を図る。
基本施策	4-1 文化芸術活動に関わりを持つ機会の充実と独自性ある取組の充実
主な取組	4-1-1 文化芸術に親しむ機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ①文化芸術に接する機会の充実 ②文化芸術への関心を高める取組の充実 ③関連施設の機能を牛かした文化芸術活動の推進 4-1-2 文化芸術活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> ①文化芸術に関わる団体への支援や人材の育成 ②関係団体等と連携した文化芸術活動の推進

		行政の取組	指 標
評価	アウトプット評価 「結果」	【成果目標から】 <ul style="list-style-type: none"> ・人々が気軽に文化芸術に触れられる取組を進めている ・団体等への支援をしている ・関連施設を更に活用する手立てを講じている 	【現行の成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術に関する事業の入場者数 ・自主文化事業への参加者の満足度 ・文化芸術活動に係る補助金の新規交付団体数 ・文化芸術活動に係る成果発表の場を活用する団体数
	アウトカム評価 「成果」	【成果目標から】 <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に文化芸術に触れている 	

社会教育推進基本方針

基本理念	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学び、その成果を地域づくりに生かす ○地域を知り、学び合いながら、絆を深め、郷土愛を育む
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○本市のまちづくり基本条例の基本原則「市民主体」「地域主体」の考え方のもと、一人一人が生涯にわたって学び続け、その成果を社会に生かすことを目指す ○地域の魅力や地域資源について共通認識を持つとともに、地域住民同士が相互に学び合いながら、人と人との絆を深め郷土への愛着を育むことを目指す

基本目標5	郷土文化の保存・活用と郷土愛の育成
成果目標5	アイヌ文化をはじめ地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等の魅力を発信しながら、次代へ引き継ぐとともに、郷土愛を育む
基本施策	5-1 郷土の文化の保存・活用と郷土愛の育成
主な取組	5-1-1 郷土の文化や歴史的資料の適切な保存と有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ①文化財等の適切な保存と継承 ②貴重な文化財等を活用した郷土の歴史を後世に伝える取組の推進 ③歴史的資料の収集・保存と整理 5-1-2 郷土愛を育むための取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ①郷土の文化に接する機会や、郷土を再発見し愛着や誇りを高める取組の充実 ②郷土の文化に関する情報発信の充実と理解の促進

		行政の取組	指 標
評 価	アウト プット 評価 〔結果〕	【成果目標から】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等の魅力を発信している ・魅力を次代へ引き継ぐ手立てを講じている 	【現行の成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の文化や歴史に関する保存資料数 ・郷土の文化を知る取組への参加者数 ・アイヌ文化に関する事業への参加者数 ・アイヌ文化をはじめ地域に根付いた文化に関する講座等への参加者の満足度
	アウト カム 評価 〔成果〕	【成果目標から】 <ul style="list-style-type: none"> ・郷土愛が育まれている 【目指す姿から】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力や地域資源について共通認識を持っている ・郷土への愛着が育まれている 	指 標

社会教育推進基本方針	
基本理念	○主体的に学び、その成果を地域づくりに生かす ○地域を知り、学び合いながら、絆を深め、郷土愛を育む
目指す姿	○本市のまちづくり基本条例の基本原則「市民主体」「地域主体」の考え方のもと、一人一人が生涯にわたって学び続け、その成果を社会に生かすことを目指す ○地域の魅力や地域資源について共通認識を持つとともに、地域住民同士が相互に学び合いながら、人と人の絆を深め郷土への愛着を育むことを目指す

基本目標1	市民一人一人の主体的な学びの機会の充実		
成果目標1	子育て世代や高齢期などの人生における各段階で直面する課題や社会的な課題を解決できるよう、学びに関する情報提供を行うとともに、様々な学びのニーズに応えることができるよう学習機会の充実を図る。 基本目標が達成されたときの望ましい市民の姿（意識や行動）と、そのために行政等が取り組むことを記入する。 例）市民が学んだことを生かして、地域や自らの課題を解決できるように、【望ましい市民の姿】 多様な手段で情報を提供するとともに、多様なニーズに対応できる事業を展開する。【行政等の取組】		
基本施策	1-1 多様なニーズに対応した学習機会、学習情報の提供 1-2 子育てをする家庭の教育力の向上		
主な取組	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1-1-1 現代的・社会的な課題やニーズに対応した学習の推進 ①国際化に伴う異なる文化・習慣への理解の促進 ②身の周りや地球規模での資源・環境問題への理解の促進 ③情報化に伴うICTの利活用の促進 1-1-2 ライフステージに応じた学習機会の充実 ①幼児、青少年期の生きる力を身に付ける学習機会の提供 ②成人期のキャリアアップや趣味、教養に関する学習機会の提供 ③高齢期の生きがいづくりなどに関する学習機会の提供 1-1-3 学習機会の選択を支援する情報提供の充実 ①講師情報や活動団体に関する情報の提供 ②課題解決を支援する各種情報の提供 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1-2-1 親や保護者の育ちを支援する取組の充実 ①家庭教育に関する学習機会の充実 ②父親の家庭教育への参加を支援する取組の充実 1-2-2 親や保護者を孤立させない環境の整備 ①交流会やサークル情報等の提供 ②子育て中の親や保護者のネットワークづくりの支援 </td> </tr> </table>	1-1-1 現代的・社会的な課題やニーズに対応した学習の推進 ①国際化に伴う異なる文化・習慣への理解の促進 ②身の周りや地球規模での資源・環境問題への理解の促進 ③情報化に伴うICTの利活用の促進 1-1-2 ライフステージに応じた学習機会の充実 ①幼児、青少年期の生きる力を身に付ける学習機会の提供 ②成人期のキャリアアップや趣味、教養に関する学習機会の提供 ③高齢期の生きがいづくりなどに関する学習機会の提供 1-1-3 学習機会の選択を支援する情報提供の充実 ①講師情報や活動団体に関する情報の提供 ②課題解決を支援する各種情報の提供	1-2-1 親や保護者の育ちを支援する取組の充実 ①家庭教育に関する学習機会の充実 ②父親の家庭教育への参加を支援する取組の充実 1-2-2 親や保護者を孤立させない環境の整備 ①交流会やサークル情報等の提供 ②子育て中の親や保護者のネットワークづくりの支援
1-1-1 現代的・社会的な課題やニーズに対応した学習の推進 ①国際化に伴う異なる文化・習慣への理解の促進 ②身の周りや地球規模での資源・環境問題への理解の促進 ③情報化に伴うICTの利活用の促進 1-1-2 ライフステージに応じた学習機会の充実 ①幼児、青少年期の生きる力を身に付ける学習機会の提供 ②成人期のキャリアアップや趣味、教養に関する学習機会の提供 ③高齢期の生きがいづくりなどに関する学習機会の提供 1-1-3 学習機会の選択を支援する情報提供の充実 ①講師情報や活動団体に関する情報の提供 ②課題解決を支援する各種情報の提供	1-2-1 親や保護者の育ちを支援する取組の充実 ①家庭教育に関する学習機会の充実 ②父親の家庭教育への参加を支援する取組の充実 1-2-2 親や保護者を孤立させない環境の整備 ①交流会やサークル情報等の提供 ②子育て中の親や保護者のネットワークづくりの支援		

		行政の取組	指 標
評 価	アウトプット評価 「結果」	【成果目標から】 ・ 学びに関する情報提供を行っている ・ 様々な学びのニーズに応えている ・ 学習機会を充実させている 成果目標を達成するために行政等が取り組むことを記入する。 例) 多様な手段で情報提供をしている 市民のニーズを把握している 多様なニーズに対応した事業を実施している	【現行の成果指標】 ・ 社会的課題やライフステージに対応した課題を解決するための講座の受講者数 ・ 社会的課題やライフステージに対応した課題を解決するための講座への参加者の満足度 ・ まなびネットあさひかわのアクセス件数 ・ 家庭教育の支援に関する講座の参加者数 行政等の取組を判断する指標（数値指標）を記入する 例) 2つ以上の方法で広報している事業数 事業アンケートで「学びたいことが学べた」と回答した参加者の割合
	アウトカム評価 「成果」	【成果目標から】 ・ 人生における各段階で直面する課題を解決出来ている ・ 社会的な課題を解決出来ている 【目指す姿から】 ・ 生涯にわたって学び続けている 基本目標が達成されたときの市民の意識や行動 例) サークル活動で学んだことを、事業等に生かしている 地域の課題を解決しようとしている 学んだことを日常生活に生かしている	市民の意識や行動を見取る指標（数値指標）を記入する 例) 公民館サークルへのアンケートで、「サークル活動で学んだことを、事業等に生かしている」と回答したサークル員の割合 市民アンケートで「地域の課題を解決しようとしている」と回答した市民の人数 事業後の追跡アンケートで「学んだことを日常生活に生かしている」と回答した参加者の人数